



津南中等教育学校 同窓会報

第6号
発行者
津南中等教育学校
同窓会
Tel. 025-765-2062
印刷 津南印刷商事



道標

同窓会長

金澤 朋紀

真っ白な雪原。あたりに人影は見えない。冬の大地を一步、また一步と、あるいていく。振り返れば、足跡がまっすぐに一筋、のびている。

「これ、持っていくといい」。差し出されたのは、一冊の本。司馬遼太郎の『峠』だ。荷造りの手をとめ、視線をあげる。立っていたのは、にやけ面の父だ。「いまのおまえには、おもしろいとおもうよ」。言葉の真意は汲みかねたが、受け取ると、ともかくカバンにしまった。

大学二年の正月のことだ。帰省の時は過ぎ、越後湯沢駅を出発した新幹線はすぐに、長いトンネルにはいる。電波は届かない。手持無沙汰になった僕は、カバンから件の本を見つけた。父が学生時代に読んだのだろうか。文字は小さく、どの頁も日焼けして茶色だった。

『峠』の主人公河合継之助は、越後長岡藩に生まれ、藩とともに戊辰戦争に死んだ男だ。開明論者でありながら、最後まで、藩の一家老という立場に自分を縛った。そして、武士道とともに散っていった。

あっ、と胸中叫んだ。継之助と父の姿が、重なってみえた。父道篤もまた、立場に自らを縛ってきた人だった。東

京の大学で四年間、考古学に打ち込んだ若き日の父だったが、家を継ぐ、という祖父との約束を守り、ついに故郷に戻ってきた。

「やりたいようにやりな」。学生という看板を持って余す僕は、父の口癖を思い出していた。自由と責任とは、等しくある。父のにやけ面が、目に浮かぶ。

真っ青な冬天。峠を突き抜けると、空は澄み、晴れわたっていた。越後路の果て、妻有の里野。雪が深く積もったその大地には、足跡がたしかに、そして遥かに、継がれていく。



同窓生をつなぐ校歌の力

津南中等教育学校 校長 渡邊 治夫

同窓生の皆様におかれましては、お元気で御活躍のことと思います。日頃より本校の教育活動に物心両面にわたる御支援をいただき、感謝申し上げます。昨年四月より、校長として赴任いたしました。どうぞよろしくお願いいたします。また、この三月には第七期生が入会します。新入会員をどうぞよろしく願います。

さて、本校に赴任して、始業式、入学式で初めて校歌を聴きました。そのときの感動は鮮明に覚えています。「みずずかる信濃川 たゆみなく流れ流れる・・・」から始まる、歌詞は一番しかない校歌ですが、作詞された故庭野 富吉 先生は、学び舎を包む豊かな自然と悠久の歴史を叙情豊かに表し、そこで学ぶ若者達の未来へ続く希望を謳われました。歌詞は、「さあ 光 花咲く希望の岡に集おう 緑の風吹く学びの園に手を繋ごう 瞳を上げて真つ直ぐに明日に向かって進んでゆこう」と来に連なる虹越えてゆこう」と締めくくられています。小学校を卒業したばかりの十三歳から、後期中等教育を終える十八歳までの生徒が集い、「夢の実現」を教育方針に掲げる本校にふさわしい歌詞です。生徒が始業式や終業式、あるいは式典で声高らかに校歌を歌うたびに、気持ちが高揚し仲間とともに明日に

向かって進もうとする勇氣を与えてくれます。校歌は大きな力を持っていると感じます。

ところで、同窓会におかれましては、第七期生を迎え新たな段階に入ると考えられます。これまでの同窓会は第一期生から第六期生で構成され、在籍していた時期に重なりがあり、学び舎で過ごした時間を共有するという繋がりがありました。一方、新たに同窓会に入会する第七期生は、第一期生が卒業後に本校に入学した生徒達です。学び舎で過ごした時間を共有するという繋がりはありません。同窓会は今後、年数を重ねる毎に、顔を合わせたことがない同窓生が増えてゆきます。しかし、同窓生の皆様には、母校及びふるさとを思う強い気持ちをお持ちであり、皆様に通していることは、六年間を本校で過ごしたこと、本校の校歌を声高らかに歌えるという点です。

同窓生の皆様が集い、校歌を歌うとき、学び舎を包む豊かな自然とそれぞれの在校時代の記憶が蘇り同窓生の絆が深まるでしょう。また明日に向かって進もうとする勇氣を与えてもらえると思います。校歌は、同窓生をつなぐ力を持っています。同窓生の皆様の益々の御健勝と御活躍を、また同窓会の一層の御発展を、春まだ遠い妻有の地より祈念しております。

中等での思い出とこれからの

一期生 南雲 咲実

私は、津南中等の六年間で起きた楽しかったこと、大変だったことの多くを忘れていました。ですが、大学四年生の教育実習で再びお世話になった時、当時のたくさんの思い出を思い出しました。教室で友達とふざけあったこと、放課後や休日に勉強をしていたことなど、考えたらきりがなくらいでした。また、生徒の皆さんが学校生活を送っている様子を見て、当時の自分を思い出したことで、在校生への座談会の時間をいただいたとき、自分の経験から感じた進路のことや将来のことを伝えることができました。私が進学先を決めるとき、先生や親のアドバイスによって大学を選びました。自分のレベルよりも高い大学を選択し、受験勉強は苦しかったですが、合格できたとときの喜びは忘れられません。私が教育実習で担当した四年生は、今年受験生です。今でもみんなと過ごした日々を思い出します。悔いの残らぬよう、勉強も学校生活も頑張ってほしいと思っています。

今の私の夢は、「楽しく生きること」です。そんな私は、大阪で自分のやりたいことを仕事にして、日々頑張っ

います。地元からは離れた土地にいますが、今でも中等時代からの友達とは仲が良いです。ふざけあったり、相談できたりする大切な存在がいるからこそ、頑張ることができていると思います。「夢の実現」のために、これからも毎日を楽しくしていきたいと思えます。

中等六年間を過ごして、これからの目標

一期生 富沢 映里可

私は看護大学を卒業し、看護師二年目として地元である津南町で働いています。津南町に戻ってきたのは、奨学金制度を利用していたためもあります。津南町に貢献したいという思いがあったからです。津南町は医師、看護師不足が深刻です。看護師二年目としてまだまだ、毎日学ぶことがたくさんあり、先輩方にやさしく教えていただきながら業務に励んでいるので、貢献している実感がないのが正直なところ

です。中等の六年間を過ごして、夢に向かって努力する大切さと、一生の友達を得ることができました。受験生の時は休日にも登校し、友達と一緒に勉強をしていたことを覚えています。最近



はよく地元にいる中等時代の友達と遊ぶことが多くあり、中等の思い出話をすることもあり。体育祭や文化祭の写真を見て、同じメンバーが写っていたときは、見た目は変わったけど、友人関係は変わらないなど、うれしくなり笑ってしまいました。

今後は、地元の方々に、この病院に来てよかったと思ってもらえるような看護師になることが目標です。そのために、看護技術を磨くこと、病態を理解することはもちろん、患者様とご家族様へのコミュニケーション技術を身につけていきたいと思えます。仕事で落ち込むこともありませんが、落ち込むだけでなくそれをバネに変えて、笑顔で業務に取り組み、地元へ貢献できる人物になりたいです。

北海道より 津南を思う

二期生
石田 考

三月に北海道大学で工学学士を取得し、同大学院でコンクリート鉄筋の腐食（つまり錆）について研究しています。北大というのは意外にも道外出身者が半数近くを占めているのですが新潟出身者に会うことは少なく、会ったとしても有名進学校ばかりなため、大抵の場合、私が人生でほとんどの時間を過ごした津南の美しい自然や出身校ーつまり津南中等のことですがーをゼロから説明することになります。意外にもそういった進学校出身者ですら大入学まで海外へ行った経験をしている人は少なかったりするため、そういった面では我が母校には貴重な体験をさせていただけだと思います。先日研究室を訪問したドイツ人の先生が機材を破損させてしまった時にあたふた対応したときはよくもまあ、一週間も豪州で生活できたなあと思ったものですが。そんな私にも就職活動の足音が近づきつつあり、大学で学んだ応用化学の専門知識を活かしながら世の中に貢献するというのが私の当面の目標であります。現在研究している金属の腐食はあらゆる自然災害の被害総額より大きい経済規模を有するにも関わらず

国内の研究者が手薄であり、人手不足の昨今でも特に人材難だそうです。錆というのは自動車、石油タンク、精密機器から果ては宇宙空間にまで存在するため、私が数年後に一体何をしているかは皆目見当もつきませんが、中等にいたあの頃から今日まで得たものすべてを血肉として今でも「夢の実現」に向け邁進する毎日です。



私の原点

二期生
矢久保 由介

辛くも楽しくも、津南での生活は私の原点となった。

一番辛かったのは通学だった。同級生の家のご厚意で、一年目の冬に下宿していた時期を除けば、片道二時間の通学はかなりの重荷だった。特に、冬は列車の遅れや連休によって休む日も

多々あった。あのような生活は今でも辛く感じるものの、それでもなお六年間を通い続けることが出来たのは、津南での生活が居心地の良いものだったからだ。

放課後の化学室で趣くままに活動していたことや、冬の図書室でだるまストーブを囲みながら雑談していたことなど、自由に過ごした思い出は無数にある。勉学に関しては厳格に感じることともあったが、生徒の自主性を尊重する環境・風土の中に過ごせたことは幸せだった。このような経験が出来たことは、本当に周りの支えがあつてのことだと思ふ。

卒業後は国際経営を学ぶべく、九州の大学に進み二年間を過ごした。その後、自分の適性が別のところにあると思ひ、途中から神戸の大学に移り金融法を専攻した。どちらの環境でも友人には恵まれたと思っているが、六年間を共に過ごした時間に比べれば、関わりの濃密さは雲泥の差である。過ぎ去った時間が与えた影響は、あまりに大きい。

そんな自由気ままに生きてきた私も、この春から働き始めた。新たな金融の枠組みを社会に出すべく、毎日が修行と試行錯誤の連続である。まだまだ何も出来ていないものの、生まれ育った故郷に恩返しするよう、精進して参りたい。

望郷

三期生

若井 雪乃

今でも中等の校舎で、三期生と過ごす夢をよく見ます。一ヶ月に少なくとも一度、みんなと会いたくて仕方なくなるがあります。来年度から社会人デビューという人が多い三期生。尋ねてみると、地元に戻ってくるという人は多くありません。とても寂しいです。でも、就職先や環境、大学で生まれた繋がりなど色々な理由がそれぞれにありますから、そうも言っていられませんか。

そういう私は、ありがたいことにUターン就職が決まりました。大学を卒業したら、なにがなんでも地元に戻る決めていたのでとても嬉しいです。春から、子どもやお年寄りを巻き込んだ活動やイベントをきっかけに地域を元気にすることを目論むお仕事をさせていただきます。地元に戻ってくることも、地域を元気にする仕事に就くことも、私がずっと望んでいたことでした。強く心に決めていたことは叶うものなんです。

さて、二つの夢が叶った私の次の野望は、それぞれ別の地で夢を叶えた三期生が「帰りたいな」と思ってくれる、そして「帰ってきちゃった」と言ってしまうような故郷をご用意することです。

す。今まで抱いていた夢よりも、もっと時間がかかりもつと難しいものだろうと思います。しかし、今回も諦めずにしつかりと努力を重ね、近い将来「おかえり！」とみんなを迎えたいと思います。

津南中等教育学校での六年間とこれからの目標

三期生

鈴木 諭

津南中等教育学校を卒業して四年、今思い返すと辛いこともいっぱいあっただろうに楽しい思い出ばかりが蘇ってきます。数ある思い出の中、最も印象深く私のに残っているのが中等教育学校の四年の時に行ったニュージーランドへの研修旅行です。

希望半分不安半分で向かった研修旅行でしたが現地の方々に温かく迎えていただき、楽しくかつ刺激的な一週間を送ることができました。また多くの異文化に触れ、現地の方々と触れ合う中で自身の中で良いほうに大きく価値観を変えることができたように思います。津南中等の六年間を過ごして本当に周りの方々に恵まれていたのだなと思います。先生や同級生、先輩、後輩、保護者の方々に支えていただき充実した六年間を送ることができました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。現在私は埼玉の大学において生物学の勉強をしつつ、教職の免許を取得しています。来年は津南中等で教育実習をさせていただく予定となっております。今から楽しみで仕方ありません。将来は地元で教職に就き少しでも今まで受けてきた恩を返して行けたらなというのが今の些細な目標です。

卒業から三年

四期生

藤木 雄大

新潟大学に進学して、人生とは分からないものだとつくづく思わされました。受験生の頃は、中学校の理科の先生を夢見ていました。当時の自分が今の自分を見たら、さぞ驚くことでしょう。

自分は今、小学校主免のコースで、生物学を専攻しています。大学の受験科目は物理・化学を選択していたので、生物に関する知識はほとんどありませんでした。しかし、だからこそ新しい発見が面白いと感じます。現在、植物二百種類の名前を調べると言う課題を行っています。半年かけて行う学習に、一つのものを探求する面白さを初めて感じました。自分の思い描いていた進路とは大きく異なり、最初は不安



でしたが、これらの刺激が自分を成長させてくれるのだと学ぶことができました。

来年には、卒業研究に取り組みます。動物を扱うのか、植物を扱うのか、どちらかの研究室に所属することになります。どちらの分野を勉強するにせよ、一年間かけて自分の全力で挑んでみたい。また、教員採用試験もあるのですが、大学の勉強と並行して、受験勉強も始まります。自分は新潟県採用を希望しているので、またご縁のある方もいるかもしれません。津南中等での受験経験を生かし、「夢の実現」に向けて悔いのない一年半にしたいと思っております。

己に勝る敵はなし。みなさんのご活躍を期待しています。

今とこれから

四期生
富井 慶太

思えば津南中等を卒業してからあと少して三年を過ぎようとしていて何とも言えない気持ちになりました。卒業後の時間は私にとって長くも短くもなく相応のものであり、その中で様々な経験をしました。今の自分は大学入学以前に理想としていたものとなっていないのかと言われればそんなことはありません。私の目指していた場所からは全く違う、想像もしていなかった所にいます。そんな私が今何をしているかというとスキーです。自身中学三年生まで競技系でスキー選手として文武両道を努めていました。しかし高校では選手を引退し、かつてシーズン中は毎日のように練習していたスキーとは離れていましたが、大学に入って部活紹介のイベントに参加した時スキー部のPVを見て再びスキーに駆られてしまいました。今回は今までとは味を変え技術系の分野で戦っています。スキーの枷にならないために学業でいい成績を取り、バイトで資金を調達するといったスキー中心の、学業を本分である身分としてはあるまじき心持で日々過ごしております。ただ、こんな生活も今までと比べて中々充実しているのではないかと感じます。欲しかったバ

イクも購入しこれからのスキーのオンシーズンや長距離ツーリングができる日々には胸躍らせています。

大学入学後は、以前に比べ自分の時間が多くなり、考え事が好きな私は自分を見つめ直し膨大な後悔と計画できない将来に辟易し、偶には鬱になっってしまうこともあります。ですが、人間とはそんなものですからそんなことを卒業後も数十年後も繰り返し、たまの幸せと楽しみを一縷の期待と生きる希望として色んな経験を積みながら今を歩んでいこうと思います。

悔いのないように

五期生
大口 茉莉子

部活動に体育祭、文化祭やチャレンジウォーク、海外研修、修学旅行。津南中等での六年間で印象に残っていることは数え切れないほどある。もちろん受験勉強もそのひとつだ。

六年生では、高校生活最後のイベントである大学受験がある。そのため、六年間で最も机に向かった年でもあったし、多くの模試を受けた年でもあった。模試の結果に一喜一憂したり、自習室のお気に入りの席に座って、放課後毎日勉強したことをよく覚えていて。友達と教室で待ち合わせをして、休日登校をしたことも多くある。一人で勉

強できることも大事だが、仲間と切磋琢磨することで長い受験勉強期間を乗り越えることができたように思う。

センター試験当日、筆箱を忘れたことも今となってはいい思い出だ。

高校生の頃の自分は、平凡な高校生活を送っているな、なにか楽しいことないかな、と思っていた。けれど、大学生になった今、当手を振り返ってみると自分が思っていたよりもずっと多くの心に残る思い出があることに気付けた。

将来、大学生生活のことを振り返った際に心に残る思い出が思い返せるように、また、後悔することがないように、どんなことにも積極的に取り組むことを目標に残りの大学生活を過ごしていきたいと思う。

秋田にゴジラ？

五期生
高橋 佑太

私は津南中等教育学校を卒業し、秋田県の大学に進学した。高校時代は新潟県以外の県に旅行することも少なかったのですが、秋田には「寒い」「なまはげ」「きりたんぼ」といった漠然としたイメージしか持っていなかった。しかし実際に過ごしてみても秋田には他にも面白いものがあることがわかった。

秋田県には男鹿半島という地質学的に有名な地域がある。その岩盤は白亜紀の花崗岩類から砂岩類が分布しており、六、五〇〇万年から九、〇〇〇万年時代の地質を調査するのに適した地質だ。しかし少し前から男鹿半島はあ

る映画がきっかけで、観光名所として男鹿半島は有名になった。二〇一六年に公開された映画「シンゴジラ」だ。ゴジラは一九五四年に公開されて以降日本の特撮映画として日本だけでなく海外でも映画化され、多くの特撮ファンたちに長く愛され続けてきた。そのゴジラがなんと映画の中だけでなく、実際に見ることができるようだ。そんな話を耳にして私は大学の仲間たちと車で見に行くことにした。しかし、私たちは大きなミスを犯してしまった。ネットの画像を見てもわかる通り男鹿半島ゴジラ岩は、多くが夕方頃撮影した写真を使っている。それを無視して私たちはまだ明るいお昼時に向かってしまったのだ。確かにゴジラのような形の岩を見ることができた。だが想像していたものより迫力に欠けてしまい残念な結果に終わってしまった。もし秋田により男鹿半島のゴジラ岩を見に行く機会ができれば、私たちのような失敗をしないよう夕方時に行くことをおすすめする。そしてぜひ迫力のあるゴジラを目に焼き付けてほしい。きっといい思い出が作れると思う。

中等六年間の学び と、現在に生かされて いること

五期生

齋木 克晃

今年で大学二年生となった私が中等生活六年間について思い返してみると、様々なことを学ぶことできたなと思います。その中でも特に、目標に向け団体で挑むことの意味を理解することができました。現在の私、一人で勉強を行おうとするとどうしても集中力が足りず、また勉強が面倒くさくなつて後回しにしてしまいがちです。しかし中等時代は学年の皆に学業で置いて行かれないように、また自身の進路実現のために受験勉強を継続して行うことができました。このように、一人だけで何かを行うのではなく共通の目標を持つもの同士で集まることによつて、互いに切磋琢磨し、最終的に自身のスキルアップに繋がられていたことに気が付くことができました。現在私は、大学のゼミで、グループで一つの論文の作成を行っています。初めてのことで、どのようにすればいいかなど手探りの状態からのスタートであり、どこから手を付けていいのか初めは分からず、調べている内容が論文の趣旨と違った方向に行ってしまうことが

多々ありました。しかし、グループ内で話し合いを進め、どのような論文を作り上げるかを決め、その論文を作成できるように目標を作り、同じグループの友に助けられながら、頑張つて論文を作成しております。

中等六年間で学んだことは、このよ
うな形で生かされていたりするため、
自身にとって大切な六年間であったと
今実感しています。

新しい経験

六期生

高橋 美沙季

同窓生の皆さんにおかれましては、
お元気で御活躍のことと思われま
す。私は季節の変わり目特有の寒暖差に負
け、例年通り風邪を引いている最中
です。

津南中等を卒業後、私は上京し一人
暮らしを始めました。体調を崩してい
る今、支えてくれていた家族のありが
たみが身に染みています。この経験は
私の中で大きな経験値となり残ること
でしょう。

この先は「経験」というワードに関
連して、私が今夏に得たひとつの新し
い経験についてお話ししようと思いま
す。

私は夏休みを利用してインターン
シップに参加しました。研修先とはあ

る元衆議院議員の方の議員事務所
です。(私がインターンシップに参加
していた時は衆議院議員として活躍さ
れていました。先日の衆議院選挙にて惜
しくも落選されました)私自身法学部
に通っていることもあり、普段出来な
い経験がしたいと思いついたのです
が、予想外に沢山の新しい経験をす
ることができました。例えば、国会や議
員会館の裏側で仕事をしたり、官僚や
議員が出席する会議を傍聴したり、地
方選挙戦の手伝いをしたりといったよ
うなことです。これらは普通に大学生
活を送っているだけでは絶対にできな
い経験であり、私の中で政治が身近に感
じられるようになった出来事でした。

選挙権年齢が十八歳に引き下がつて
しばらく経ちます。私はインターン
シップを経験して若者の政治参加が求
められていることを肌で感じました。
皆さんも流れてくる政治ニュースに耳
を澄ませ、考えを巡らせてみてはいか
がでしょうか。

新たな活躍の場を 求めて

六期生

風巻 光

津南中等教育学校では体育祭で連合
長を二年間務め総合優勝に導いたり、
部活動の陸上競技で心身共に鍛えたり
と充実した生活でしたか、私は「夢の
実現」に向けて卒業後の進路を考え
たとき壁にぶつかりました。

私自身卒業後もこの陸上競技を続け
たいこうと思つていました、そうなるも
のだと思つていました。ですが現実
が厳しいものでした。インターハイ出
場が決まった時は嬉しかった反面記録
を伸ばすこと、結果を残すことに執着
し焦りを感じていました。皆さんは私
のインターハイの壮行式を覚えていて
しょうか。自身の怪我によつて参加で
きなかつたのです。もちろんその後
うまくいくことはなく、インターハイ
ではよい結果を残せませんでした。そ
れでも自分の能力を信じて受験する以
外道はありませんでした。結局推薦も
一般も揮わず、自身の望んだ形で陸上
を続けることはできなくなりました。
そんな未来に失望している時に一つ
の出会いがありました。ニューグリン
ピア津南では毎年多くの大学や日本代
表のウエイトリフティングチームが合
宿を行っています。そこで新潟でもウ



「演劇がやりたい」。私の大学進学に
 おいての第一条件はこれでした。そし
 て現在、私は多摩美術大学演劇舞踊デ
 ザイン学科に通い、演劇舞踊コースの
 生徒として演劇について日々多くのこ
 とを学んでいます。学ぶと言っても座

進んで、得て、 これから

六期生
 南雲 沙希

エイトリフティングを盛んにしようと
 選手発掘がなされていて、津南の中学
 生が一人全中に出場しました。そこで
 私も選手としてお誘いを頂いたので
 す。そしてその話に乗っかり、今の金
 沢学院大学に行き着いたのです。この
 大学では島本麻美選手や八木かなえ選
 手といったロンドン五輪出場者や日
 本、世界で活躍している選手が多数い
 る大学です。右も左も分からなかった
 私を温かく迎え入れてくれて、今では
 新潟を代表して国体出場の候補を頂い
 ています。私はここにいる仲間たちと
 切磋琢磨し、心身を鍛え、東京五輪へ
 向けて新たな道を進み始めました。
 皆さん、未来というのは思いがけな
 い形で進みます。今定まってなくても
 ちよつとしたきっかけで変わるもの
 です。皆さんにもそんな出会いがあるこ
 とを願っています。

学は午後のみで、午前中はダンスをし
 たり、即興劇をしたり、絵を描いたり
 ；音楽に合わせて三時間ずつと歩き続
 け跳び続ける授業もあります。正直、
 想像していた大学生像とは程遠く、毎
 日実技の課題に終われ、稽古着で汗を
 流す日々です。

しかし、これはまさしく私が望んで
 いたものでもありました。例えば、「合
 唱で自分は大きく声を出したいけど、
 なんだか周りの声が小さいから恥ずか
 しくって声を小さくしてしまう…」こ
 んな経験ありませんか？ 大きな声で
 歌うこと、思いっきり踊ること、台詞
 を諳んじること、小説を書くこと…表
 現出来る可能性のどれもが、もしかし
 たら恥ずかしいことなのかもしれない
 い、と私は時に不安でした。でもこの
 大学は自分を出すことを恥ずかしがら
 なくていい環境を与えてくれました。

先日、友人に誘われ、「ミチタカコ」
 という劇団の旗揚げ団員として、自分
 の脚本作品の公演に挑戦しました。今
 は冬に行く次の公演に向けての脚本
 を書いています。きつと今の私は、私
 の今まで人生の中で一番生き生きと輝
 き、磨かれる時期を手に入れました。
 これからどうなっていくのか、まだ
 はつきりとはわかりませんが、まだも
 う少し周りにわがままを言って、演劇
 の世界を漂ってみようと思います。

第6回同窓会総会報告書

去る2017年8月12日(土)、第6回目の津南中等教育学校同窓会総会が開かれました。今年度は、会場を津南中等応接室に移し、1期生から6期生まで12名の会員の皆様にご出席いただきました。同窓会及び母校の発展のために皆様と意見を交わした結果を報告させていただきます。

第1号議案【平成28年度 津南中等教育学校同窓会 活動報告】について

第2号議案【平成29年度 津南中等教育学校同窓会 活動計画(案)】について

第3号議案【平成28年度 津南中等教育学校同窓会 会計決算報告及び監査報告】について

第4号議案【平成29年度 津南中等教育学校同窓会 会計予算(案)】について

第5号議案【津南中等教育学校同窓会一部役員続投及び新規役員入会】について

→会則第14条の規定により、何も意見がない場合は現在の役員が任期2年経過後そのまま次期も続投する。ただし、現役員の代役が決定した場合には代わることができる。
 意見として、任期2年目に当たる役員は総会に参加するべきという声があった。

第6号議案【その他】

- 参加人数を増加させるために、参加者を学生か社会人に限定すべき、開催日程を毎年同日にすべき、学校ではなく校外で開くべきなどの意見が寄せられた。
- ・会報編集作業を今まで行っていた1期生河合祥子さんから4、5期生から選出された者へ役割を引き継ぐことに決定した。
- ・予算残余額の使途として、役員交通費等に使用することは可能であると確認した。

⇒臨席者賛成多数により、第1号から第6号議案は可決された。

在校生の活躍 (部活動大会結果等)

【陸上競技部】

前期生

都市大会

(男子)砲丸投	第3位 8m41	丸山由紀也
(男子)四種競技	第3位 910点	高野伊吹
(男子)走高跳	第4位 1m55	富井大翔
(男子)4×100mR	第7位 50秒68	富井大翔・西野達郎・村越元汰・高野伊吹
(女子)200m	第6位 29秒14	丸山弥鈴
(女子)200m	第8位 29秒74	樋口春香
(女子)走高跳	第1位 1m40	小西愛咲
(女子)走幅跳	第1位 4m57	福原莉子
(女子)走幅跳	第6位 4m27	樋口春香
(女子)4×100mR	第6位 54秒84	大塚麻由・藤野美咲・福原莉子・小西愛咲
(女子)1年100m	第1位 13秒99	丸山弥鈴
(女子)1年4×100mR	第3位 1分0秒24	丸山弥鈴
大島美咲・丸山弥鈴・馬場小椿・富井優花		

中越地区大会

(男子)走高跳	第8位 1m55	富井大翔
---------	----------	------

四市二郡新人大会

(男子)砲丸投	第4位 8m73	丸山由紀也
(男子)円盤投	第4位 19m68	丸山由紀也
(男子)200m	第5位 29秒11	丸山弥鈴
(女子)走高跳	第1位 1m41	小西愛咲
(女子)走幅跳	第7位 4m42	樋口春香
(女子)4×100mR	第6位 56秒07	大塚麻由・藤野美咲・小西愛咲・丸山弥鈴

後期生

春季中越地区大会

(男子)100m	第1位 10秒60	桑原優斗
(男子)200m	第2位 21秒87	桑原優斗
(男子)砲丸投	第4位 10m44	丸山翔大
(女子)やり投	第8位 22m48	桑原比菜乃

県総体

(男子)100m	第2位 10秒90	桑原優斗
(男子)200m	第1位 21秒61	桑原優斗

北信越大会

(男子)200m	第2位 21秒47	桑原優斗
----------	-----------	------

全国総体

(男子)200m	予選組 6着 21秒72	桑原優斗
----------	--------------	------

県1年生大会

(男子)砲丸投	第4位 12m66	丸山翔大
---------	-----------	------

秋季中越地区大会

(男子)100m	第1位 10秒65	桑原優斗
(男子)200m	第2位 21秒70	桑原優斗
(男子)4×100mR	第3位 43秒86	風巻孝仁・滝沢修斗・丸山翔大・桑原優斗
(男子)砲丸投	第3位 11m32	丸山翔大
(男子)走高跳	第3位 1m70	滝沢修斗
(男子)走幅跳	第7位 6m20	風巻孝仁

県選抜大会

(男子)100m	第3位 10秒81	桑原優斗
(男子)200m	第2位 21秒75	桑原優斗
(男子)砲丸投	第5位 11m81	丸山翔大

北信越新人大会

(男子)100m	第8位 11秒09	桑原優斗
----------	-----------	------

【野球部】

前期生

十日町市・中魚沼郡大会

1回戦	松之山・津南中等 1-2	吉田・下条・松代 (延長10回)
-----	--------------	------------------

十日町市・中魚沼郡新人大会

1回戦	中里・津南中等・吉田 1-12	下条・松代・松之山 (5回コールド)
-----	-----------------	--------------------

後期生

春季新潟県大会

1回戦	津南中等 20-1	十日町松之山 (5回コールド)
決勝戦	津南中等 10-9	直江津中等 優勝

春季北信越大会 (福井県)

準決勝	津南中等 0-8	上田 (7回コールド)
-----	----------	-------------

夏季選手権新潟大会:

1回戦	津南中等 7-0	十日町松之山 (7回コールド)
決勝戦	津南中等 5-3	新潟商業 (延長13回タイブレーク)
優勝		

夏季選手北信越大会 (富山県)

準決勝	津南中等 1-2	岡谷工業
秋季新潟県大会	リーグ戦 津南中等 3-11	直江津中等 (7回コールド)
リーグ戦	津南中等 1-10	新潟商業

【サッカー部】

前期生

都市大会 3位

津南中等	0-1	六日町中
津南中等	1-3	大和中
津南中等	4-0	塩沢中

都市新人大会 3位

津南中等	0-4	六日町中
津南中等	0-7	大和中
津南中等	5-0	塩沢中

NIFA U-15中越地区サッカーリーグ

津南中等 0-4	中之島中	津南中等 1-6	江陽中
津南中等 0-4	三条二中	津南中等 0-11	東北中
津南中等 1-2	栄中	津南中等 0-1	三条一中
津南中等 2-2	ヴァルミール	津南中等 0-6	下田中
津南中等 3-0	三条四中	津南中等 8-0	Jdream

後期生

新潟県U-18サッカーリーグ

津南中等 1-9	小千谷	津南中等 0-2	柏崎
津南中等 0-1	長岡	津南中等 1-3	糸魚川白鷲
津南中等 1-1	産大附属	津南中等 2-6	長岡農業
津南中等 1-7	長岡商業	津南中等 2-3	柏崎工業
津南中等 1-1	六日町		

春季地区大会 1回戦敗退

1回戦	津南中等 0-8	長岡大手
-----	----------	------

高校サッカー選手権大会新潟県大会 1回戦敗退

1回戦	津南中等 0-10	新津南
-----	-----------	-----

秋季地区大会 2回戦敗退

1回戦	津南中等 2-1	国際情報
2回戦	津南中等 0-16	中越

【卓球部】

前期生

都市大会

男子団体	予選リーグ敗退	
津南中等	0-3	津南
津南中等	0-3	十日町
津南中等	0-3	中条
女子団体	2位	

津南中等	0-3	南
津南中等	3-1	中条
津南中等	3-1	十日町

男子個人	ベスト16	齋木瀬名・池田航大
女子個人	ベスト16	増田美海・八木楓夏・桑原由妃・古澤向日葵・鈴木慧美

都市カデット卓球大会

中2女子個人	3位	鈴木慧美
--------	----	------

県カデット卓球大会

中2女子個人	1回戦敗退	鈴木慧美
--------	-------	------

都市新人大会

女子団体	3位	
津南中等	0-3	十日町
津南中等	2-3	中条・川西・中里
津南中等	3-1	南

男子個人	ベスト16	田中玲央
女子個人	3位	鈴木慧美
	ベスト8	桑原由妃

中越地区新人卓球大会

女子団体	1回戦	津南中等 0-3	長岡大島
女子シングル1年	4回戦敗退 (ベスト32)	宮澤心音	
	3回戦敗退	渡邊桃子・水落礼	
女子シングル2年	3回戦敗退	鈴木慧美・桑原由妃	

県新人卓球大会

女子シングル1年	1回戦敗退	宮澤心音
----------	-------	------

後期生

春季魚沼地区高校卓球大会

男子団体	1回戦	津南中等 3-1	小出B
	2回戦	津南中等 1-3	六日町A
女子団体	3位		
1回戦	津南中等 1-3	十日町	(相手チーム人数不足の為準決勝進出)
準決勝	津南中等 2-3	小千谷	
敗者戦	津南中等 2-3	小出	

春季中越地区高校卓球大会

男子団体	1回戦	津南中等 1-3	加茂
	1回戦	津南中等 0-3	三条商業
男子シングル	3回戦敗退		荒木龍平
	1回戦敗退		高橋順平・樋熊樹・江村郁哉

女子シングル	2回戦敗退		丸山ひかる
1回戦敗退			尾身典香・古川悠生・山本桜

県総体

男子ダブルス	2回戦敗退		高橋・荒木組
女子シングル	2回戦敗退		古川・丸山組

国体少年の部1次予選

男子シングル	2回戦敗退		荒木龍平
--------	-------	--	------

県高校1年生大会

男子シングル	1回戦敗退		荒木龍平
--------	-------	--	------

秋季魚沼地区大会

男子シングル	ベスト8		荒木龍平
男子シングル	ベスト16		樋熊樹

秋季中越地区大会

男子団体	1回戦	津南中等 3-1	十日町総合 (人数不足の為2回戦に進出できず)
男子シングル	2回戦敗退		荒木龍平

【バレーボール部】

前期生

都市大会 4位 (参加校10校)

予選トーナメント	津南中等 2-0	下条
	津南中等 2-1	津南
決勝トーナメント	津南中等 2-1	十日町
準決勝	津南中等 0-2	十日町南
順位決定戦	津南中等 1-2	中条

都市新人大会 予選敗退

予選リーグ	津南中等 0-2	十日町
	津南中等 0-2	川西

都市一年生大会 4位 (参加校6校)

予選リーグ	津南中等 2-0	松代
	津南中等 2-0	十日町
決勝トーナメント	津南中等 0-2	下条
順位決定戦	津南中等 1-2	十日町

後期生

春季魚沼大会 6位 (参加校9校)

春季地区大会	津南中等 2-0	加茂農林
	津南中等 0-2	六日町

県総体

津南中等	0-2	新発田農業
------	-----	-------

十日町オープン大会

津南中等	0-2	ちいむK
------	-----	------

選手権大会

津南中等	0-2	八海
------	-----	----

秋季地区大会

津南中等	0-2	長岡向陵
------	-----	------

魚沼市長杯

7位 (参加校8校)		
------------	--	--

【吹奏楽部】

第41回全国高等学校総合文化祭

新潟県代表		
-------	--	--

第58回新潟県吹奏楽コンクール

高等学校Bの部	銀賞	
---------	----	--

第41回新潟県アンサンブルコンテスト

高等学校の部	木管5重奏	銅賞
--------	-------	----

【アート部】

文芸、イラスト、写真、演劇、書道の5つの班に分かれ、一人ひとりが目標をもって製作活動をしてきました。学校行事では、体育祭でのパネル作成や文化祭での作品展、部誌の発行、演劇発表など積極的に活動しました。

【科学部】

アマチュア無線国家試験3級合格	5名
アマチュア無線国家試験4級合格	7名
苗場山麓ジオパークガイド認定検定初級合格	1名